



No.3200

第3517回例会  
平成29年2月22日

DISTRICT 2500

## OBIHIRO

## 方針 COOL ROTARY

ROTARY CLUB

会長 佐藤真康

2016-17年度国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕するロータリー

## ■会長報告



2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。そのテーマにピッタリのイベントがいま北海道で行われています。ご存じの冬季アジア大会です。札幌がベースですが、帯広でもスピードスケートが開催されていて、日本人が大活躍です。地元の高木美帆さんらが金メダルということで、うれしいですね。このアジア大会、どこが運営しているかといえば、オリンピック組織がやっています。オリンピックの五輪というのは、世界の5つの大陸を表していますが、その5つの輪が重なり合って、一緒に行う総合スポーツ大会がオリンピックです。1つの輪だけのものは、例えば今回のアジア大会になります。

アジア大会は世界人口の約6割を占めるアジアの大会ですから、世界最大の「地域オリンピック」ということが言えます。つまり、地域版平和の祭典が行われているのです。1972年札幌でアジア初の冬のオリンピックが開催されました。その日本がアジアでも冬のスポーツを発展させようと冬のアジア大会を提唱し、1986年札幌で第1回が開催されています。今回で8回目となりますが、過去最多となる31カ国・地域から選手約1300人、役員約1000人の計約2300人のエントリーがあったとのことです。ですから、2026年の札幌オリンピック・パラリンピックを実現させるには重要な大会となります。招致のために、冬季アジア大会を成功させて、次の2つことを証明しなければなりません。1つは、国際的冬季スポーツイベントの実施能力です。これは問題なく大丈夫だと思います。もう1つは、国際的冬季スポーツイベントを歓迎し、皆で楽しみ、盛り上げようとする北海道民がいるということの証明です。特に後者は皆さんのが会場に足を運ぶことが重要になってきますので、ぜひオーバルで開催されているスピードスケートを観戦していただければと思います。

## ■プログラム 「帯広JC会員増強の現状と課題について」

## 会員増強委員会

・帯広青年会議所「人」未来室長

藤田 淳 様



## 青年会議所における会員拡大について

一般社団法人帯広青年会議所  
2017年度「人」未来室 室長 藤田 淳

## 一般社団法人帯広青年会議所

藤田 淳

- ・昭和56年8月24生まれ（35歳）
- ・2002年 フジタグリオ 入社
- ・2008年 帯広青年会議所 入会
- ・2010年 会員候補者会議員会 副会員長
- ・2012年 どちらの能力割合委員会 副会員長
- ・2013年 アカデミー委員会 副会員長
- ・2014年 どちらの心創造委員会 委員長
- ・2016年 会員候補者会議員会 団長
- ・2017年 「人」未来室 室長
- ・2017年 北海道地区協議会 総務運営委員会 副会員長

## 青年会議所の目的

明るい豊かな社会の創造



